

衆議院神奈川第6区での野党共闘・市民連合

ロックの会通信

＝2018年 師走号＝

発行：かながわロックの会

共同代表

・前田 康雄

kanagawa.rokku@gmail.com

・須藤 富男

☎ 090-2634-5976

＝安倍政権による暴走政治を終わらせよう！＝ 立憲野党の参議院候補者と懇談する

「ロックの会」は来年の参議院選挙で立憲野党の躍進を期待して、立憲民主党と日本共産党の参議院神奈川選挙区候補者とそれぞれ対話集会を開催し、両候補者の話しを聞きました。

立憲民主党

牧山ひろえ議員

と10月21日懇談

懇談会に参加して

小島節子（保土ヶ谷区）

2005年、議員候補者の公募を見て議員になるなら民主と思い、応募したそうです。即議員とはいかず、二児の子連れで神奈川県全駅頭での宣伝行動をしながら、07年初当選。イメージカラーはオリーブグリーン（平和と環境を守る）。「いのちを守る」ことを大事にしているとのことでした。

国会の議員活動では、「三ツ星国会議員」の認定（NPO法人万年野党より）を得ているそうです。これは国会での質問回数が評価されるもので、所属していない委員会でも、書面質問が出せる制度があるので、大いに活用しているとのことでした。安保法強行採決の時は体を張って奮闘し、報道されたことを話して頂きました。

憲法の問題では、環境権やプライバシー保護など、国民みんなが変えたほうが良いと言うなら改正もと、お話ししていました。

牧山議員の人となり、国会での活動を知る機会となりました。「野党共闘体制をしっかりしてほしい！国民の前に明るい展望を示してほしい！」と、お願いして会を終了しました。



日本共産党

あさか由香候補

と11月18日懇談

懇談会に参加して

須田利正（建設組合）

あさか候補の話して特に印象に残っていることは、“世界中から

貧困と戦争をなくしたい”という彼女の決意。どんなに強い軍隊があってもテロは防げないし、軍事で世界は平和にならないと、話していた。また、日本共産党に勝る政党はないとし、あの侵略戦争に命がけで反対して闘った党であり、これは世界的にも素晴らしいことであると、自信をもって話す姿は、平和を願う国民の心を惹きつける魅力ある人だと感じた。

2019年の参院選立候補を決意したのは、諦めない人々の生き方に出会ったからと話し、沖縄県知事選挙の応援に行った際、翁長さんの生き方に感動し、同じ生き方をしているのが「ロックの会」の皆さんだと言う。この輪を広げきって共産党も広げていきたいと、誠意を込めて話す姿に、私も選挙で応えなければと思う。

あさか由香さんは政治家として視野が広く、世界の現状を憂うその発言に、人として満ち溢れた優しさで力強さを感じる。”本当に国会議員になってほしい人を見つけた”との思いです。



生活をこわすな！改憲発議はNO！ 11・25スタンディング&県民パレードを実施！

300人目標に対して立憲野党と市民が150人集い、桜木町駅前の広場にスタンディングで「安倍改憲NO！」「消費税10%NO！」「動かすな！東海第2原発」「無視するな！沖縄の民意」「最低賃金1500円！」のプラカードを掲げた。このアピールは画期的で道行く人々の注目を集め、パレードも元気よく歯切れのいいコールで、多くの行楽客の耳目を集めました。今後、政党や労働組合が主体的に取り組む共同行動に発展することを願っていますが、まだまだ、私たちの努力が足りないと感じ。道行く人々も一緒に参加できる状況を生み出したいものです。 報告：松原博（ロックの会事務局）

青柳陽一郎衆議員と 第2回目の国政報告・懇談会を開く

10月28日（日）の夜6時30分より保土ヶ谷公会堂・会議室にて、青柳衆議院との総選挙後第2回目となる国政報告・懇談会を開催し、大岩まさかず市議（旭区）と望月聖子県会候補（保土ヶ谷区）も同席しました。今回の国政報告では、既に破たんしているアベノミクス政策に代わる立憲民主党の経済政策（エダノミクス）を中心に説明を受け、参加者からは安倍改憲やカジノ問題などで質問がありました。（国政報告のテーマを経済政策に絞って要約し掲載）



国政報告後、参加者の質問に答える青柳議員

社会保障充実で格差と貧困をなくす

青柳議員は9月に枝野代表と訪米してバーニー・サンダース上院議員と面談し、先進資本主義国が直面している「格差と貧困」を解消するために教育・子育て・医療などに税金を使い、経済活動を好循環させる政策について意見交換した成果を話し、立憲民主党の政策を解説した。

OECD諸国の中で比較しても、日本の教育・子育てに関する予算が少ないことが問題で、少子化や子どもの貧困など社会問題化している。医療・介護分野でも国がもっと支援するべき。

労働者の実質賃金が下がり格差が拡大し、GDPも伸びていない。また、限界消費性向という言葉があるが、数少ない1億円以上の所得者が所得倍増するより、大多数の200万円台の所得者が所得倍増した方が消費経済は伸びる。つまり、安倍政権のトリクルダウン（大企業・資産家が経済全体を潤す）ではなく、ボトムアップ方式（貧困層の生活支援）の政策が必要。

消費増税・安倍改憲・カジノに反対

消費不況が続く中で、来年の消費増税10%は絶対に反対。軽減税率導入も業者の事務処理が煩雑になるだけ。するならば、給付付きの税額控除（低所得者に対する諸手当や控除措置）だろう。社会保障費UPの財源確保は消費増税ではなく、当面は国債で補うなら可能だ。

参加者からは、安倍改憲やカジノ問題についての質問が出され、立憲民主党として安倍改憲には反対の立場で政策にも入れることや、カジノ誘致にも反対することを明言しました。

◇大岩市議のあいさつ◇（要旨のみ）

カジノ法案が成立して全国で3カ所誘致できるようになった。林市長は以前白紙と言っていたが、市長再選後カジノ準備の予算を付けている。市民からは反対意見が多いので、議会で市民アンケートを取るよう働きかける。

◇望月県会候補のあいさつ◇（要旨のみ）

保土ヶ谷を中心に子育て生活支援事業（保育園開設や子ども食堂など）をしている。前回初めて県議選に挑戦したが力不足だった。子育てと介護の経験をいかして政治に反映させたい。



あいさつする大岩市議（左側）と望月県会候補

「かながわロックの会」 = 私たちの3つの目標 =

- 1、日本が海外で他国軍のために武力を行使することを可能にした「安保関連法」の廃止
- 2、個人の権利や自由を保障する民主主義や権力の横暴を抑える立憲主義の実現
- 3、安心して暮らせる神奈川を目指した政治・社会の実現

賛同人募集中！ ⇒ 1面記載の共同代表（前田または須藤）までご連絡下さい

■facebookページ参照：<https://www.facebook.com/kanagawaRokku/>